

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

〈一 般〉▽とんぼの本沖繩・琉球王国ぶらぶら(おおきゆうこう・田名真之)▽オンエア上・下(柳美里)▽龍馬の天命(阿井景子ほか)▽ゲゲゲの女房(武良布枝)▽裁判おもしろことば(大河原眞美)▽日本一わかりやすいがんの教科書(水上治)▽日本帰化植物写真図鑑(清水矩宏)

■みずうみ読書の家

〈一 般〉▽面白・土門功太郎(乃南アサ)▽ソルハ(帚木蓬生)▽万葉びとの奈良(上野誠)ガラスの巨塔(今井彰)▽遍路みち(津村節子)▽唄の旅人(和田登)▽八丁堀の火車(佐伯泰英)▽嵐が丘(上・下)(E/フロンテ)▽ぶらり日本史散策(半藤利一)▽捏造

〈児童書〉▽であえて本当によかった(宮西達也)▽あなたが生まれてきた夜に(ナンシー・テイルマン/訳 内田恭子)

■洞爺総合センター図書室

▽狂い咲き正宗(山本兼一)▽自分の感受性くらい(茨木のり子)▽おうちで給食(ほん(北海道新聞社)▽コックモームー!(ジュリエット・ダラス)▽たたみの部屋の写真展(朝比奈蓉子)▽ステップ(重松清)▽新・13歳のハローワーク(村上 龍)

されたヒーロー遠山金四郎(棚橋正博)▽島弧・マグマ・テクトニクス(高橋正樹)▽明治・大正の日の地震学(金凡性)〈児童〉▽飼育栽培図鑑、工作図鑑、遊び図鑑、料理図鑑、生活図鑑、園芸図鑑、冒険図鑑、自然図鑑(福音館図鑑シリーズ)

◆消費者だより◆

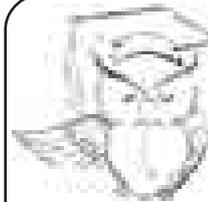
最初は気軽な気持ちで生活資金を借入れたのがきっかけで、その後も生活費が足りなくなると借入れし、そのうち返済が苦しくなり、返済のための借金を繰り返すようになった。このような状態を「多重債務」といい、借金返済のための借金が悪循環となり生活が破綻する人が増加しています。深刻な多重債務の根源的な要因は、貸し金業者の高金利な貸付や返済能力を超える過剰融資といわれており、これを規制する法律も改正されました。消費者も借り入れ前に本当に必要かどうか、利息はいくらになるのか、金利を比較検討し、慎重に考える必要があります。

万が一、多額の債務を抱えてしまった場合は、弁護士などに相談して債務整理をしましょう。必ず解決する方法があります。借金は、将来の収入を先に使ってしまうことです。日頃から将来の生活を考えた買い物の計画や貯蓄を行うなどの生活設計能力を身につけましょう。

※ 注意：貸金業法改正で、上限金利が引き下げられ、貸金業者からの総借入額が年収の3分の1を超える借り入れは原則禁止になりました。



今月の1冊



テイラノサウルスシリーズ〈全8巻〉
著者 西宮達也

ほんとうに強いものとは、ほんとうにすばらしいものとは何なのか。一見、乱暴で強いと見えるものの奥底にあるやさしさや思いやり。心に沁みます。幼児から小学生向けです。



●開館時間

◆あぶた・みずうみ読書の家／10：00～16：20(毎木曜日・祝祭日休館)
◆洞爺総合センター図書室
／平日8：45～17：00・土日8：45～16：00(正月のみ休館)
●6月休館日あぶたみずうみ
10日・17日・24日・7月1日・8日

消費者連絡会の解散

「多くの町民が賢い消費者になるように」と、消費生活展をはじめ様々な活動をしてきましたが、会員の高齢化と会員の減少などで活動が困難となり、この度解散することになりました。

関係者や町民の皆さんには長年ご協力のご指導を頂きましたこと厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。